

# URAYASU STYLE

Vol. **42**  
2020.12

教育情報誌  
うらやすスタイル  
浦安市教育委員会



## 命を大切にし、健康で たくましい子どもを育むために

- ✦ ICTの効果的な活用
- ✦ 公民館・郷土博物館に行ってみよう!



### 運動会・体育祭の代替行事(入船小・高洲中)

どうしたら開催できるのか、何ができるのかを考えて、運動会や体育祭の代わりとなる行事を行いました。時期や種目などいつもとは違う面もありましたが、「走る」「跳ぶ」「引っ張る」「演じる」子どもたちの真剣な表情と、満足げな笑みが輝いていました。

### with コロナに向けた学校教育、生涯学習・スポーツ活動とは？

10、11月にかけて、園、学校では、運動会・体育祭の代替行事、学習・保育参観、校外学習や合唱コンクールなどを工夫しながら実施しました。修学旅行は来春の卒業前に計画している学校もあります。学校を訪問した際「このコロナ禍で大変な時間を過ごしているが、当たり前のように実施していた学校行事や学習の進め方、子どもたちとの関係づくりやその視点などをじっくり見つめ直す機会となった」という話を複数の校長先生から伺いました。

スポーツ活動が再開され始め、講演会の講師の方から「こうした中、よくぞ開催しましたね」と、そして市民の方々からは「待ち焦がれていました」と喜びの声もいただきました。

今回の記事はこうした状況下においても、様々なアイデアで実践されている教育活動や青少年補導員はじめ地域の方々に見守られながら、時代の流れに応じた道具(機器)を扱い、学びの幅を広げている本市の子どもたちを紹介しています。コロナに負けるな!子どもたち!!

また、全てではありませんが、ようやく生涯学習・ス

浦安市教育委員会 教育長 鈴木忠吉



# 命を大切にし、健康で たくましい子どもを育てるために

新型コロナウイルス感染症による学校休業や外出自粛の影響で、「子どもたちが体を動かす機会が減り体力の低下が心配される」との声があります。体力は人間が成長・発達し、創造的な活動を行っていくために必要不可欠なものであり、健康の維持といった身体面のほか、意欲や気力といった精神面の充実にも大きくかかわっています。感染症対策を講じながら、子どもたちが運動する楽しさを味わうことを通して体力の向上を図るとともに、望ましい生活習慣や食習慣、命を大切にすることを育む健康・安全教育を推進し、健康でたくましい子どもの育成を目指しています。

## 運動する楽しさや喜びを味わう

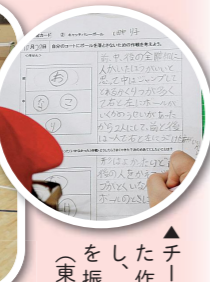
### 体を動かす楽しさや心地よさを 味わう体育科の授業

小・中学校の体育科の授業ではどの子も楽しく安心して運動に取り組むことができるように、基本的な動きを練習で身に付けさせたり、実態に応じてルールや場の設定を工夫したりしています。

また、作戦を考え、それを試すなど、友達と協力してゲームを行う楽しさを感じられるようにしています。



▲ネット型のボールゲーム（小学3年生）飛んできたボールを落とさないようにキャッチすればラリーは続く（東小学校）



▲チームで考えた作戦を試し、その結果を振り返る（東小）

▶バレーボール（中学1年生）コート内でボールを落とさないようにチームで声を掛け合う（美浜中学校）



### 「2020浦安スポーツフェア」

気軽にスポーツに親しめる機会として「2020浦安スポーツフェア」を10月11日に開催しました。オリンピック自転車競技女子マディソン日本代表内定の中村選手と公園内をサイクリングしたり、プリオベッカ浦安の選手とサッカーを体験したりと、トップ選手と一緒に体を動かしました。子どもたちはもちろん、大人も一緒に運動に親しむ姿がありました。



◀中村選手と一緒にサイクリングしました。「自転車の重さは何キロですか」などの質問にも答えてくれました

▼子どもたちの活躍に、プリオベッカ浦安の選手も時折本気になっていたかも？



◀子どもだけでなく大人もスラックラインに挑戦中。子どもたちもその様子を見守っています

### いろいろな遊びの中で 体を動かす

園では、子どもたちの興味に応じた遊びの中で、自分から十分に体を動かす心地よさを味わうことができるようにしています。

この日はバルドール浦安の選手が来園し、サッカー教室が行われました。汗をかきながらボールを追いかけて、終わった後は「ボールを蹴るのが楽しかった」と満足そうでした。



▲ボールを上に向けて、手をたたいてからボールをキャッチする（若草認定こども園）



◀「ボールにさわりにいこう」というゲームの合図で（若草認定こども園）

### 「浦教研の日はクライミング」

浦教研とは、先生方の研修会である浦安市教育研究会の略称で、この日は市内の小・中学校の下校時刻がいつもより早くなります。高洲公民館では、市内の小学生以上を対象にボルダリングやロープクライミングに挑戦できる講座を設けました。2回目の参加となる子もあり、慣れた手つきで高い壁をスイスイ登っていました。



◀ロープクライミングでは、建物の3階の高さまで登ることができる

▼ボルダリングでは、手と足を上手に使い、壁を登る



### 特別支援学級交流 スポーツ大会

毎年、市内全ての中学校の特別支援学級が集まり、交流スポーツ大会が行われています。日頃の体育的活動の成果を発揮することはもちろん、生徒同士の交流を図る場ともなっています。

コロナ禍で開催が危ぶまれましたが、今年度は陸上競技場でマラソンを行いました。快晴の中、自分の力を出し切っていました。



▲教育長と一緒に準備体操を行う



▲1200mの部のスタート。この他に400m、2000mの部があり、個人の力に応じた距離を選んで走る

▲見事、1200mの部の1位になる

## 健康で安全に生きていくための力を育む

### スクエアドストレイト

スタントマンが交通事故の再現を実演して見せるスクエアドストレイトを行いました。参加した子どもたちは交通事故の恐さや交通ルールを守る大切さを感じたようです。「右、左、後ろを見て、事故が起きないようにしたい」と代表児童が感想を述べました。



▶車とぶつかって壊れてしまった自転車を見せる（南小学校）

▲自転車と歩行者、自転車同士、自転車と車など様々な事故の場面を再現する（南小学校）

### 安全マップづくり

「見えやすい」「入りにくい」から“安全”「見えにくい」「入りやすい」から“危険”をキーワードに、学区内の安全な場所と危険な場所を探しに4年生がフィールドワークを行いました。「カーブミラーがあって見えやすいから安全」「車止めがあって入りにくいので安全」など調べてきたことを安全マップにまとめました。

この安全マップを使って、2年生に学区内の危険なところを伝える発表会をする予定です。



▲学区内をフィールドワークする（南小学校）



▲見えやすく、入りにくくしている設備があるところを青色、見えにくい、入りやすいところを赤色で安全マップにまとめる（南小学校）

### 「食べる」から思いつく言葉は？

『「食べる」から思いつく言葉を書きましょう』5年生の総合的な学習の時間は先生のこの言葉から始まりました。「食」に関する学習を積み重ねていくを通して、子どもたちは「食」に関する自分のテーマを決め、調べ学習を始めました。夏休みには調べた料理を作ってみた子もいたそうです。最後は自分のテーマについてパワーポイントや模造紙などを使って発表しました。

5年生の日高先生は「給食の栄養素にまで目が向くなど食に関して子どもたちの関心が深まった」と話していました。



▲「災害食」について調べたことをパソコンを使って発表する（高洲北小学校）



▲「体を助ける免疫力」をテーマに調べたことを模造紙にまとめ、発表する（高洲北小学校）

# ICT環境の整備と効果的な活用

## 学校にはどのようなICT機器があるの？

学校には様々なICT（Information and Communication Technology）機器が整備されています。

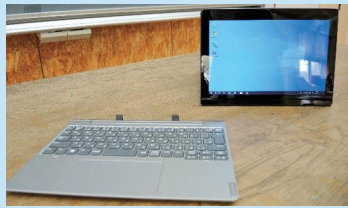
### パソコン室

興味あることを調べる学習や友達に伝える資料を作るために必要な写真を印刷する時などに使用します。



### タブレット型パソコン

教室で調べ学習を行う、フィールドワークで写真を撮る、双方向のやり取りを行うなど様々な活用方法により、学びが広がっていきます。年度末には一人1台整備できるように準備しています。



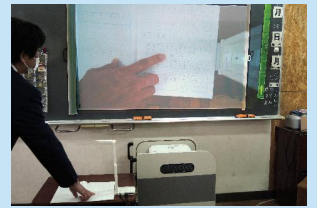
### ICTカート

プロジェクターと実物投影機が入ったICTカートを各クラスに整備しています。コンピュータの画面等を黒板に大きく映し出すことができます。



### 実物投影機

プロジェクターにつなげて、手元にあるノートや実物をそのまま拡大して表示し、クラスみんなで情報を共有することができます。



## ICT機器を使うとどのようなことができるの？

小・中学校ではICT機器のメリットを生かした学習が行われています。相互に情報の発信・受信のやり取りができるようになり、学習の幅が広がってきています。

### オンライン合唱祭（高洲中学校）

毎年、全校生徒が集まって行う合唱祭を、今年度は3密を避けるため一学年だけが体育館に集まり、残りの2つの学年の発表は、タブレット型パソコンとICTカートを使って教室で鑑賞しました。



体育館で発表し、同学年の発表は体育館で聴く



他学年の発表は教室で鑑賞する

### オーストラリアの学校との交流（見明川小学校）

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、オーストラリアの学校とオンラインで交流を図りました。クイズなどを通してお互いの国のことを教え合い、交流を深めていました。



「日本の国旗はどれですか？」とオーストラリアの友達にクイズを出す



オーストラリアと日本とで「あっち向いてホイ」をオンラインで行う

### 「学校へようこそ」6年生の図画工作科の学習（高洲小学校）

校内のいろいろな場所に分かれて、来校者が楽しい気持ちになれるような飾りつけを工夫して作りました。教師の指示や他のグループの様子を、パソコンを使ってリアルタイムに確認しながら作業を行いました。



自分たちで作った飾りを撮影し、写真をクラス全員で共有する



他のグループの作品を見て、質問したりアドバイスをしたりとパソコンを使って対話しながら作業する

### 生徒会立会演説会（日の出中学校）

全学年の生徒が体育館に集まるのを避けるため、立候補者はホールで演説を行い、その様子を各教室に配信し、視聴しました。



立候補者の演説を教室で視聴する

### 初めてのGIGA端末（東野小学校）

ログインの方法や使い方の注意点、危ないHPの見分け方などを学習したり、会議や投稿を体験したりしました。



パソコンについての使い方や情報

# 公民館・郷土博物館に行ってみよう!

## 公民館や郷土博物館には魅力的な活動がいっぱい!

公民館や郷土博物館では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、様々なイベントを開催しています。公民館情報誌「ルネサンス」や郷土博物館のホームページを見て、興味のあるイベントに参加してみるのはいかがでしょうか。



絵の具広場で絵を描いて遊ぶ

### 出張プレーパークin当代島公民館

高洲にある「うらっこ広場」が当代島公民館の北側芝生広場に出張してきました。しゃぼん玉遊びや大きな紙に自由に絵を描くことができる絵の具広場など普段にはない遊びがたくさんでき、集まった親子が共に楽しい時間を過ごしました。



しゃぼん玉を作って遊ぶ



「浦安市婦人の会連合会」の方の貝むきの技を見る



「もやいの会」の方から洗濯板の使い方を教わる

### 郷土博物館「昔の暮らし体験」

郷土博物館では「昔の暮らし体験」を行っています。貝むき体験では、あさりの貝をむく手つきを真剣なまなざしで見せていました。洗濯体験では洗濯板の使い方を教わりながら、手ぬぐいをゴシゴシ洗濯しました。この「昔の暮らし体験」は小学3年生を対象としたものですが、それ以外にも昔の暮らしを味わうのなら、2か月に一度程度行う「かまどの日」がおすすめです。屋外展示場にあるかまどを実際に使ってジャガイモをふかしたり、ふうかし（あさりのみそしる）を作ったりするイベントです。対象や定員など詳細は、ホームページで確認してみてください。



ジャガイモをふかすかまどの日

郷土博物館ホームページ



## 美浜公民館が リニューアルオープン しました!

10月にリニューアルオープンした美浜公民館は「みどりゆたかに はなやかに まなびあおうよ 美浜公民館」をキャッチフレーズにしています。美浜公民館の主催事業に参加してみたりサークル活動で利用してみたりと新しくなった公民館をぜひご活用ください!



駐車場が広くなりました



開放的なエントランス



ラウンジと学習コーナー



保育室もあります



中央図書館美浜分館もリニューアル



ウッドデッキで素敵なひとときを!



アップライトのピアノのある音楽室



大集会室の広さは約200㎡



浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



## 青少年補導員



浦安市青少年補導員連絡協議会の方にインタビューしてみました。

### 青少年補導員はどのような活動をしているのですか？

**森本** 中学校のブロックごとに行う地区パトロールが主な活動です。私の地区では夜に行くことが多いのですが、午前中や夕方に行っている地区もあります。子どもたちの登下校や公園で遊んでいる様子を見守り、危険なところがあったら青少年センターに連絡しています。

**大滝** 補導員という悪いことをしている人を補導するというイメージがありますが、警察との役割分担は明確になっており、私たちの目的はあくまでも言葉がけによって子どもたちを守ることです。ですが



ら「補導員」という名称とは別に、活動内容が分かりやすくなるように「みまもり隊」という名前を使い始めました。

### パトロールの時に気を付けていることは何ですか？

**森本** 一言で言えば子どもたちへの言葉がけです。夕方になっても遊んでいる子がいたら「早く帰ろう」とか、自転車の無灯火走行を見かけたら「あかりをつけよう」といった具合に言葉をかけます。子どもたちの安全、そして地域を見守るためにパトロールをしています。



### この活動の意義や重要なことは何だと考えますか？

**森本** 子どもたちへの言葉がけを「愛のひと声」とも呼んでいます。大事なことは大人がきちんと見



白の上着に黄色い帽子で地域を見守る「みまもり隊」(現在107名)

守っているよという安心感を子どもたちに伝えることだと考えます。こうした地道な活動の継続が青少年の健全育成につながっていくのだと思います。

**大滝** 見守り活動には大人と子どもたちのコミュニケーションを深める効果もあるのではないのでしょうか。「へえーすごいね」という感じで話しかけると、子どもたちから様々な言葉が返ってきます。こうした地域での日常的なコミュニケーションは「地域は地域で守る」という考え方が基本だと思います。また、このことは私のやりがいにもなっています。



## 取り組み

### パトロール

青少年補導員は、主に中学校のブロックごとに毎月定期的にパトロールを実施しています。また、お祭りや花火大会などの市の行事や学校の始業式に合わせてパトロールしています。



▲堀江中学校区の地区パトロール

▲富岡中学校区の早朝パトロール

### ブロック会議

青少年補導員には、学校の教員や保護者など様々な立場の方がいます。ブロック会議では、パトロールを行う日程や子どもたちの学校や家庭での様子などについて情報交換をしています。



▲ブロック会議の様子

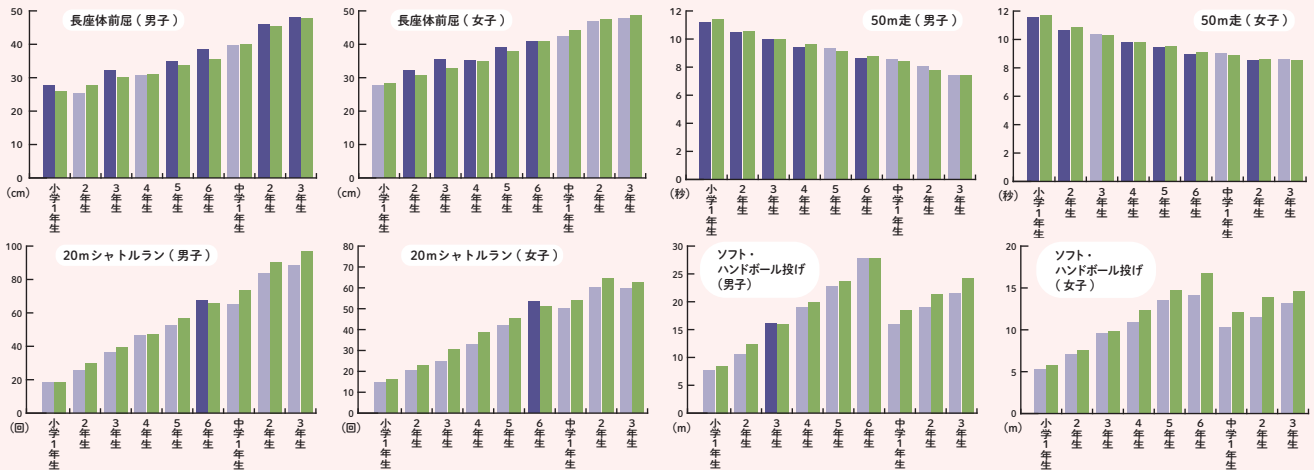
# 調査から見える 浦安っ子



## ▲ボールバスラリー

6人以上のチームで1つのボールを交替でパスし合い、3分間での回数を競って楽しめます。これは、体力づくり月間として、外遊びの奨励と児童の投げる力の向上を目指して行われました。(日の出小学校)

## 浦安市体力・運動能力調査 (令和元年度)

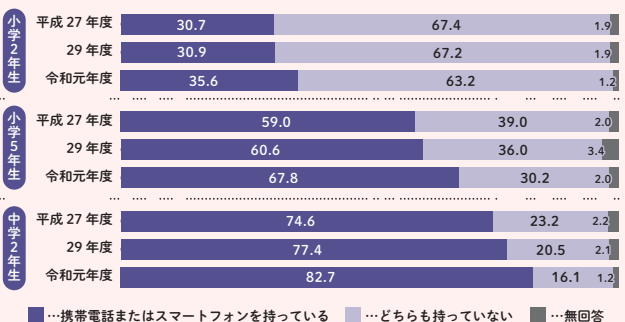


柔軟性を測定する長座体前屈と50mを走る力は全国平均を上回った学年が多く良好な結果と言えます。一方で、20mシャトルランやソフトボール・ハンドボール投げは全国平均を下回っている学年が多くなっており、全身持久力や投げる力の向上が課題となっています。

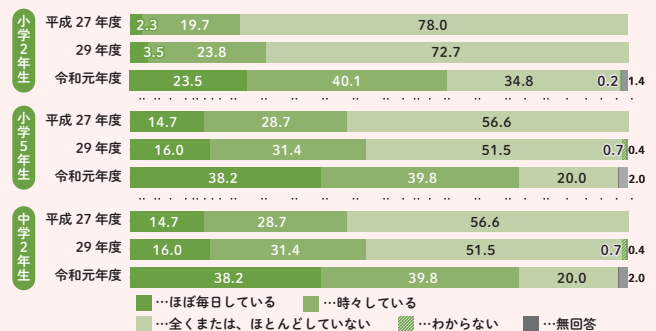
運動する楽しさや喜びを知ることが子どもたちの体力向上につながります。学校・家庭・地域で子どもたちが「楽しい！」と汗をかきながら体を動かす、そのような機会を設けていきましょう。

## 小中学校保護者及び教員の教育に関する意識調査 (平成27年度～)

### Q. お子さんは、自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか



### Q. お子さんは携帯電話やスマートフォンでメールやネットの利用(ホームページ、ネットゲーム等)をしていますか



小学2年生、5年生、中学2年生全ての学年で、携帯電話やスマートフォンを「持っている」と回答している割合が年々増えてきていることがわかります。

平成29年度と令和元年度を比べてみると、メールやネットを「ほぼ毎日している」と回答している割合は、小学5年生、中学2年生で2倍以上となっており、小学2年生については、約7倍に増えています。

小・中学校ではICT機器の整備を進めています。環境整備のみならず、その活用方法、使用する際のマナーやエチケットなども合わせて進めていくことが大切になると考えます。

# 浦小オリンピック

これは、校長室の前にある掲示板で「浦小オリンピック」への参加者を募るものです。浦安小学校では、コロナ禍で行事が縮小、削減される中、子どもたちに楽しい体験をさせたいという思いから「浦小オリンピック」を開催しました。「子どもたちが様々な種目に挑戦することを通して、失敗を恐れず、失敗に負けないしなやかな態度を育みたい」と船橋校長先生はおっしゃっていました。



▲大会前の休み時間には練習する姿が見られる



▲けん玉の部の決勝戦は体育館で行われた

## 園・学校の節目となる誕生日

今年度、東小学校が開校40周年を迎えました。子どもたちのメッセージを添えた風船を飛ばし、学校の誕生日をお祝いしました。今年度は他にも、神明認定こども園が50周年、入船南認定こども園、入船中学校が40周年を迎えました。



▲色とりどりの風船を飛ばす (東小学校)

## 千葉県教育功労者表彰

浦安中学校の小澤力雄校長先生、明海中学校の寺尾里代校長先生が令和2年度教育功労者として表彰されました。おめでとうございます。



左から小澤校長、教育長、寺尾校長

ひとりで悩まないで!

## 相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のことお気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談	0歳～就学前児とその保護者	月～金曜日 9:00～16:00	①子育て相談室 (集合事務所3階) ☎306-3715 ②子育て相談窓口 (市役所2階) ※面談のみ
就学相談	特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通級指導教室の利用に関する相談	就学前児、小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	教育研究センター まなびサポート (富岡小学校内) ☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	指導課 (市役所7階) ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 10:00～17:00	いちよう学級 猫実 ☎351-1151 入船 ☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	電話相談 *メール相談可 相談専用 ☎0120-211-380
青少年	問題行動、家庭生活など青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月～金曜日 10:00～正午・13:00～16:00	青少年センター (市役所7階) 相談専用 *メール相談可 ☎351-1152
生涯学習相談	学びたいこと、習いたいことなどの相談	一般	月～金曜日 9:00～17:00	生涯学習課 (市役所7階) ☎712-6792

小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談(友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど)に応じています。

教育情報誌



発行/浦安市教育委員会 浦安市猫実1-1-1 TEL:047-712-6732 企画・編集/教育政策課

浦安市教育振興基本計画では、「学び 育み 認め合い『未来を創造する』人づくり」を基本理念として、学校、家庭、地域、行政が連携・協力し、豊かな浦安の未来を創造する人づくり、地域づくりを推進しています。教育情報誌「うらやすスタイル」では、学校教育をはじめ、生涯学習の取り組み、地域と子どもとのかわりなどの教育情報を発信していきます。

